

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月24日(火)	試合番号	D7	回戦	男子2回戦
種別	中学生	会場	富士見市立市民総合体育館		

Aチーム			Bチーム		
戸塚 (埼玉)			城東 (徳島)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
29	12	前半	9	23	
	17	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評

男子2回戦、シードのため初戦となる城東スローオフで始まる。城東がパス回しを意識した展開から7番のサイドシュートで初得点。DFから速攻も重ね、開始2分で0-3と城東リードとする。戸塚はポストとサイドの連携からフリーでシュートに行くも、城東1番キーパーのナイスセーブにより得点ならず。戸塚のDFが機能しはじめ拮抗した時間が続くが、開始9分、戸塚は7番のパスカットからワンマン速攻で初得点。1-4とした。11分ごろ戸塚2番が流血のため一時中断。そこから流れは戸塚へ。戸塚7番の多彩なサイドシュートが連続で決まり14分に4-4の同点とした。交代していた2番もコートに復帰し、直後7番のサイドシュートにより戸塚が逆転に成功する。10分以上得点が止まった城東、17分に戸塚6番が退場するも、城東はこの2分間で点差を縮めることができず、3点差戸塚リードで前半終了。

後半5分、戸塚2番センターからサイドへの飛ばしパスで大きく展開すると、フリーになった8番のロングシュートが決まり会場を大きく盛り上げた。城東は3番がパスカットから、最終的に自らミドルシュートで決め得点。粘りのプレーでDFから速攻をかけ、7番や13番のスピードのある走り込みで得点を重ねる。しかし、戸塚は多彩なOFのきっかけから城東DFを崩し、随所に2番と8番のロングシュートが冴えわたりリードを広げていく。23分に城東タイムアウト。直後フォーメーションから得点し、7点差とするも29-23で試合終了。

記載者名

島本 桃太